

記入例

協力会社安全衛生管理計画書

会社名 〇〇建設

工事名称		XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	工事
1 工事概要	イ、工種	型枠工	
	ロ、工事内容	躯体型枠	
	ハ、工期	〇年〇月〇日～〇年〇月〇日	
	ニ、機械設備	移動式クレーン・台のこ・丸のこ	
2 安全衛生管理体制	店社による安全衛生管理組織・安全パトロール実施予定等 <input checked="" type="checkbox"/> (1 回/月) 無		
	<pre> graph TD A[社長] --- B[専務] B --- C[工事部長] C --- D[現場代理人] </pre>		
3 作成予定の作業標準	No.	作業標準の種類	備考
	1	型枠組立解体作業	
	2		
	3		
	4		
	5		

4 安全衛生教育の計画	No.	教育内容	実施時期	備考
	1	選入教育	雇入時	
	2	作業内容変更時	変更の都度	
	3	既雇入場時	入場の都度	
4	特別教育	今後災害防衛等の実施時に受講		
5 従来診断の計画	No.	健康診断の内容	実施時期	備考
	1	雇入健康診断	雇入れの都度	
	2	定期健康診断	10月頃予定	
	3	特殊健康診断	無し	
6 重点的に実施しようとする活動	No.	実施内容と活動予定		備考
	1	朝礼・添削	毎日 8時～8時20分	
		安全人会参加	毎月 1日 8時～8時30分	
		一斉清掃	毎週 金曜 13時～13時30分	
2	KY活動の実施 朝礼時に実施			
3	その他の重点活動（職員会など） 一斉清掃活動			

平成 27 年 8 月 9 日

再下請負通知書 (変更届)

直近上位の注文者名 **株式会社森本組** ①

現場代理人名 **夏川 二郎** 殿 (所長名) ②

元請名称 **株式会社森本組** ③

【報告下請負業者】

〒 **101-XXXX** ④
 住所 **東京都港区芝浦北5-X-X**
 TEL **03-555-XXXX**
 FAX **03-555-XXXX**

会社名 **大山建設株式会社**
 代表者名 **大山 一郎** (印)

《自社に関する事項》

工事名称及び工事内容 **千代田商事丸の内ビル新築工事に係る型枠工事** ⑤

工期 ⑥ 自 **平成27年7月10日** 至 **平成29年1月20日** 注文者との契約日 **平成27年7月7日**

建設業の許可 ⑦	施工に必要な許可業種		許可番号		許可(更新)年月日	
	大工	工事業	知事	一般	24 第 5000 号	平成24 年 5 月 6 日
		工事業			第 号	年 月 日

監督員名	⑧ 中島 明	安全衛生責任者名	⑬ 中島 明
権限及び意見申出方法	⑨ 下請負契約書第〇条記載のとおり 文書による	安全衛生推進者名	⑭ 谷口 六郎
現場代理人名	⑩ 中島 明	雇用管理責任者名	⑮ 総務部長 鈴木 四郎
権限及び意見申出方法	⑪ 下請負契約書第〇条記載のとおり 文書による	※専門技術者名	⑯
※主任技術者名	⑫ 専任 大沢 常男	資格内容	⑰
資格内容	⑫ その他 10年以上の実務経験	担当工事内容	⑱

※登録基幹技能者名・種類 ⑱

外国人建設就労者の従事状況(有無) ⑲ 有 無 外国人技能実習生の従事状況(有無) ⑳ 有 無

健康保険等の加入状況 ⑳	保険加入の有無	健康保険		厚生年金		雇用保険	
		加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外
	事業所整理記号等	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険		
		大山建設(株)	協会けんぽ 55-1234	55K2AB12345	1234-001212-1		

- (記入要領)
- 報告下請負業者は直近上位の注文者に提出すること。
 - 再下請負契約がある場合は、《再下請負関係》欄(当用紙の右部分)を記入するとともに、次の契約書類(金額記載)の写し全てを階層について提出する。なお、再下請がある場合は、《再下請負関係》欄をコピーして使用する。 ①請負契約書、(注文書・請書等) ②請負契約約款
 - 一次下請負業者は、二次下請負業者以下の業者から提出された書類とともに様式第1号-乙に準じ下請負業者編成表を作成の上、元請に届け出ること。
 - この届出事項に変更があった場合は直ちに再提出すること。
 - ① 出入国及び難民認定法(昭和26年政令第319号別表第1の2の表の技能実習の在留資格を決定された者(以下「外国人技能実習生」という。))が、当該建設工事に従事する場合は「有」、従事する予定がない場合は「無」を○で囲む。
 ② 同法別表第1の5の表の上欄の在留資格が決定された者であって、国土交通大臣が定めるもの(以下「外国人建設就労者」という。))が、建設工事に従事する場合は「有」、従事する予定がない場合は「無」を○で囲む。

《再下請負関係》 再下請負業者及び再下請負契約関係について次の通り報告いたします。

会社名	① (株) 山田 工務店	代表者名	② 山田 一郎
住所 電話番号	〒 101-XXXX 東京都千代田区神田3-X ③ (TEL 03-0341-XXXX)		
工事名称及び工事内容	千代田商事丸の内ビル新築工事に係る型枠工事のうち基礎型枠工事 ④		
工期	⑤ 自 平成27年7月20日 至 平成28年12月25日	契約日	⑤ 平成27年7月15日

建設業の許可 ⑥	施工に必要な許可業種		許可番号		許可(更新)年月日	
	大工	工事業	知事	一般	25 第 2351 号	平成25 年 10 月 15 日
		工事業			第 号	年 月 日

現場代理人名	⑦ 間島 健児	安全衛生責任者名	⑩ 間島 健児
権限及び意見申出方法	⑧ 下請負契約書第〇条記載のとおり 文書による	安全衛生推進者名	⑪ 加藤 和夫
※主任技術者名	⑨ 専任 間島 健児	雇用管理責任者名	⑫ 総務部長 青木 正男
資格内容	建設業法「技術検定」又は10年以上の実務経験等	※専門技術者名	⑬
※登録基幹技能者名・種類	⑰	資格内容	⑭
		担当工事内容	⑮

外国人建設就労者の従事状況(有無) ⑰ 有 無 外国人技能実習生の従事状況(有無) ⑱ 有 無

健康保険等の加入状況 ⑲	保険加入の有無	健康保険		厚生年金		雇用保険	
		加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外	加入	未加入 適用除外
	事業所整理記号等	営業所の名称	健康保険	厚生年金保険	雇用保険		
		山田工務店	協会けんぽ 55-3344	11K2AB54321	1234-002233-2		

6 健康保険等の加入状況の保険加入の有無欄には、各保険の適用を受ける営業所について届出を行っている場合は「加入」を、行っていない場合(適用を受ける営業所が複数あり、そのうち一部について行っていない場合を含む)は「未加入」を、従業員規模等により各保険の適用が除外される場合は「適用除外」を○で囲む。事業所整理記号等の営業所の名称欄には、請負契約に係る営業所の名称を、健康保険欄には、事業所整理記号及び事業所番号(健康保険組合にあっては組合名)を、一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の整理記号及び事業所番号を、厚生年金保険欄には、事業所整理記号及び事業所番号を、一括適用の承認に係る営業所の場合は、本店の整理記号及び事業所番号を、雇用保険欄には、労働保険番号を、継続事業の一括の認可に係る営業所の場合は、本店の労働保険番号をそれぞれ記載する。なお、この様式左側について、直近上位の注文者との請負契約に係る営業所以外の営業所で再下請負業者との請負契約を行う場合には欄をそれぞれ追加する。

- ※ [主任技術者、専門技術者、登録基幹技能者の記入要領]
- 主任技術者の配属状況について [専任・非専任] のいずれかを選択すること。
 - 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等その工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(一式工事の主任技術者が専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。) 技技複数の専門工事を施工するために複数の専門技術者を要する場合は適宜欄を設けて全員を記載する。
 - 登録基幹技能者が複数いる場合は、適宜欄を設けて全員を記載する。
 - 主任技術者の資格内容 (該当するものを選んで記入する。)
- ①経験年数による場合
- | | | |
|---------------------------------|------------|------------------------|
| 1) 大学卒 [指定学科]
(短大・高専卒業者を含む。) | 3年以上の実務経験 | ②資格等による場合 |
| 2) 高校卒 [指定学科] | 5年以上の実務経験 | 1) 建設業法「技術検定」 |
| 3) その他 | 10年以上の実務経験 | 2) 建築士法「建築士試験」 |
| | | 3) 技術士法「技術士試験」 |
| | | 4) 電気工事士法「電気工事士試験」 |
| | | 5) 電気事業法「電気主任技術者国家試験等」 |
| | | 6) 消防法「消防設備士試験」 |
| | | 7) 職業能力開発促進法「技能検定」 |

外国人技能実習生
建設現場入場許可申請書

① エース建設○△ビル新築工事
所長 ○○ ○○ 殿

②	企業名	山田建設株式会社	申請日	2010年 9月21日
	責任者	役職名 主任技術者	氏名	田中 太郎

③	建設工事名	○△ビル新築工事		
④	実習実施機関の概要			
	実習実施機関名	山田建設株式会社	登録業種	建築一般
	所在地	東京都港区○○町○-○○-○	TEL	03-000-0000
	常勤従業員数	事務系職員 8(人)	技術職員	24(人)
⑤	技能実習管理責任者	役職 取締役社長	氏名	山田 一郎
⑥	技能実習指導員	役職 技術課長	氏名	佐藤 二郎
⑦	生活指導員	役職 総務課主任	氏名	山田 花子
	技能実習受入れ目的	中国河北省の建設産業人材養成の技術協力		
入場申請に係る技能実習生				
		技能実習1号口(うち講習)	技能実習2号口	
	全体の技能実習期間 開始～終了予定	2010年 10月18日 ～2011年 10月17日 (2010. 10.18 ~2010. 12.17)	2010年 11月16日 ～2012年 11月15日	
	在留中の主な技能実習内容	型枠施工	型枠施工	
⑧	受入れ中の人数	2 (人)	4 (人)	
	今までの受入れ実績	5回計 10 (人)	10 (人)	
	国籍	中国	中国	
	入国までの身分・職業等	建設作業員	建設作業員	
建設工事現場における技能実習作業				
	技能実習計画 (具体的な作業内容)	型枠加工・組立、脱型・解体		
	現場入場の人数と予定期間	技能実習1号口・技能実習生 2(人) 技能実習2号口・技能実習生 4(人)	2010.12.20～2011.3.31	
	技能実習指導 指導の内容・体制など	建築型枠加工・組立、脱型・解体の現場における技能実習指導		
	安全管理 指導の内容・体制など	新規入場者教育、ツールボックスミーティング、KY(危険予知)活動、作業手順		
	施工体制元請けとの関係 直近上位の企業名その他	(元請け) エース建設(株) → (第1次下請け)山田建設(株)		

- ① 元請企業名を記載
- ② 第1次下請企業から申請
- ③ 工事名称
- ④ 技能実習生を受け入れている実習実施機関の概要
- ⑤ 技能実習の管理責任者(実習実施機関の代表者等)
- ⑥ 在留資格認定証明書交付申請の際に記載した技能実習指導員名
技能実習指導員は、5年以上の経験を有する常勤職員
- ⑦ 在留資格認定証明書交付申請の際に記載した生活指導員名
生活指導員は、技能実習生の生活全般にわたる指導員で、配置を義務付け
- ⑧ 実習実施機関が受け入れられる技能実習1号口に該当する技能実習生の数は、
その実習実施機関の常勤職員数(技能実習生を除く)に応じて制限有り

(その2)

監理団体				
(不明な部分は監理団体に問い合わせ記入してください)				
監理団体の名称	ピース中小建設業協同組合			
所在地	東京都豊島区〇〇町〇-〇〇-〇	電話番号	03-000-0000	
技能実習事業責任者名	理事長 鈴木 一郎			
会員等の 実習実施 機関	業 種	実習実施機関数	業 種	実習実施機関数
	建設業	12社		
技能実習受入れに係る業種など (該当番号に○)		1. 複数業種・建設の複数職種 ②. 建設のみの単一業種・複数職種 3. 建設のみの単一職種		
会員等の実習実施機関の所在地 地域が全国に渉る場合は「全国」 複数県の場合は「都道府県名」 市町村の場合は「市町村名」を記入		東京都、埼玉県、千葉県		

⑨ 講習の実施 (入国後、監理団体が実施するもの)

講 習 内 容 ※2月講習の実施例として記載	講習実施形態 (業種別・職種別・ 合同など)	講習日程	講習施設
ア. 日本語	合同	2010年 10月18日 ~2010年11月19日	東京中小企業大学校
イ. 日本での生活一般に関する知識	合同	2010年 11月22日 ~2010年11月30日	東京中小企業大学校
ウ. 入管法、労働基準法等技能実習生の 法的保護に必要な情報	合同	2010年12月1日	産業教育センター
エ. 円滑な技能等の習得に資する知識 (職種に係る専門教育・安全教育)	職種別	2010年12月2日 ~2010年12月17日	建設安全センター

添付書類

申請にあたっては下記に該当するものの写し各1部を添付する

- 1) パスポート (国籍・氏名等と在留許可のある部分)
- 2) 在留カード又は外国人登録証明書
- 3) 実習実施機関概要書
- 4) 申請人名簿 (技能実習1号又は2号の名簿)
- 5) 監理団体概要書
- 6) 実習実施機関と技能実習生との雇用契約書及び雇用条件書 (労働条件通知書)
- 7) 保険契約を証明するもの

(以上7件)

- ⑨ 監理団体が実施する講習の総時間は、技能実習1号口の活動に従事する予定の時間全体の6分の1以上であるが、以下のいずれかに該当する講習又は外部講習を受けた場合には、12分の1以上となる。
- ・ 監理団体が本邦外において実施した講習を受けた場合
 - ・ 外国の公的機関、又は教育機関が実施した外部講習を受けた場合

外国人建設就労者建設現場入場届出書

丸の内ビル作業所長 殿

平成27年7月20日

(受入建設企業の名称) (株)山田工務店
(責任者の職・氏名) 代表取締役 山田二郎

外国人建設就労者の建設現場への入場について下記のとおり届出ます。

記

1 建設工事に関する事項

建設工事の名称	千代田商事丸の内ビル新築工事
施工場所	東京都千代田区丸の内×-○-×

2 建設現場への入場を届け出る外国人建設就労者に関する事項

	外国人建設就労者1	外国人建設就労者2	外国人建設就労者3
氏名	○○ △△	□□ ●●	
生年月日	1985. 4.28.	1985. 4.29.	
性別	男	男	
国籍	中国	ベトナム	
従事させる業務	基礎型枠工事(型枠工事作業)	基礎型枠工事(型枠工事作業)	
現場入場の期間	2015.7.20 ~2015.10.25	2015.7.20 ~2015.10.25	
在留期間満了日	2016.6.30	2016.6.30	

3 受入建設企業・適正監理計画に関する事項

適正監理計画認定番号	B00×××		
受入建設企業の所在地	東京都千代田区神田○-×		
元請企業との関係 (直近上位の企業名その他)	【一次下請】大山建設(株)→【二次下請】(株)山田工務店		
責任者	役職	取締役社長	氏名 山田 二郎
管理指導者	役職	技術課長	氏名 田中 一朗
就労場所	関東地方		
従事させる業務の内容	型枠工事作業		
従事させる期間(計画期間)	2015. 4.1	~	2017.3. 31

○添付書類

提出にあたっては下記に該当するものの写し各1部を添付すること

- 1 適正監理計画認定証
- 2 パスポート(国籍、氏名等と在留許可のある部分)
- 3 在留カード又は外国人登録証明書
- 4 受入建設企業と外国人建設就労者との間の雇用契約書及び雇用条件書(労働条件通知書)

全建統一様式 第5号

原則として、協力会社毎に作成する。

作業員名簿

事業所の名称 八重州建設株式会社丸の内ビル作業所

(平成23年7月15日作成)

所長名 夏川 二郎 殿

本書面に記載した内容は、作業員名簿として、安全衛生管理や労働災害発生時の緊急連絡・対応のために元請業者に提示することについて、記載者本人は同意しています。

一次会社名 大山建設株式会社

(二次) 株式会社山田工務店

現場代理人でもよい。

作業員を雇用する会社が作成し、1次の会社を通じて元請に提出する。

元請確認欄

提出日 平成23年7月18日

Table with columns: 番号, ふりがな, 氏名, 職種, ※, 雇入年月日, 生年月日, 現住所, (TEL), 最近の健康診断日, 血液型, 特殊健康診断日, 教育・資格・免許, 入場年月日. Includes detailed entries for workers like 間島健児, 秋田一郎, etc., and various explanatory notes.

(注) 1. ※印欄には次の記号を入れる。 (注) 2. 作業主任者は作業を直接指揮する義務を負うので、同時に施工されている他の現場や、同一現場においても他の作業箇所との作業主任者を兼務することは、法的に認められていないので、複数の選任としない。 (注) 3. 経過年数は現在担当している仕事の経過年数を記入する。 (注) 4. 各社別に作成するのが原則であるが、リース機械等の運転者は一緒でもよい。 (注) 5. 資格・免許等の写しを添付すること。

全建統一様式 第5号別紙

元請
確認欄

提出日 平成 23 年 7 月 18 日

社会保険加入状況調査票

(平成 23 年 7 月 15 日 作成)

事業所の名称 八重州建設株式会社丸の内ビル作業所
所 長 名 夏 川 二 郎 殿

一 次 会社名 大山建設株式会社 (二 次) 株式会社山田工務店
会社名 (印) 会社名 (印)

番 号	ふりがな 氏 名	社 会 保 険		
		健 康 保 険	年 金 保 険	雇 用 保 険
1	まじま けんじ	〇〇健康保険組合	厚生年金	
	間 島 健 児	X X X X		X X X - X
2	あきた いちろう	〇〇健康保険組合	厚生年金	
	秋 田 一 郎	X X X X		X X X - X
3	ふくしま しろう	〇〇健康保険組合	厚生年金	
	福 島 四 郎	X X X X		X X X - X
4	いわて じろう	〇〇健康保険組合	厚生年金	
	岩 手 二 郎	X X X X		X X X - X
5	やまがた しんいち	〇〇健康保険組合	厚生年金	
	山 形 信 一	X X X X		X X X - X
	以下略			

(注) 個人情報保護の観点から、被保険者番号等は本人の同意を得たうえで記載する。
(記入要領)

- 健康保険欄には、上段に健康保険の名称（健康保険組合、協会けんぽ、建設国保、国民健康保険）を、下欄に健康保険被保険者証の番号の下4けた（番号が4けた以下の場合は、当該番号）を記載する。
- 年金保険欄には、上段に年金保険の名称（厚生年金、国民年金）を、各年金の受給者である場合は、上段に「受給者」と記載する。
- 雇用保険欄には、下段に被保険者番号の下4けた（日雇労働被保険者の場合は、上段に「日雇保険」と）を、事業主である等により雇用保険の適用除外である場合は、上段に「適用除外」と記載する。

《全建統一様式 第5号》 作業員名簿

【記入要領】

(注) 1. ※印欄には次の記号を入れる

- ① … 現場代理人
- ② … 作業主任者（(注) 2.）
- ③ … 女性作業員
- ④ … 18歳未満の作業員
- ⑤ … 主任技術者
- ⑥ … 職長
- ⑦ … 安全衛生責任者
- ⑧ … 能力向上教育
- ⑨ … 危険有害業務・再発防止教育

(注) 2. 作業主任者は作業を直接指揮する義務を負うので、同時に施工されている他の現場や、同一現場においても他の作業個所との作業主任者を兼務することは、法的に認められていないので、複数の選任としなければならない。

(注) 3. 経験年数は現在担当している仕事の経験年数を記入する。

(注) 4. 各社別に作成するのが原則であるが、リース機械等の運転者は一緒でもよい。

(注) 5. 資格・免許等の写しを添付すること。

【社会保険加入状況調査票】

(注) 個人情報保護の観点から、被保険者番号等は本人の同意を得たうえで記載する。

(記入要領)

1. 健康保険欄には、上段に健康保険の名称（健康保険組合、協会けんぽ、建設国保、国民健康保険）を、下段に健康保険被保険者証の番号の下4けた（番号が4けた以下の場合は、当該番号）を記載する。
2. 年金保険欄には、上段に年金保険の名称（厚生年金、国民年金）を、各年金の受給者である場合は、上段に「受給者」と記載する。
3. 雇用保険欄には、下段に被保険者番号の下4けた（日雇労働被保険者の場合は、上段に「日雇保険」と）を、事業主である等により雇用保険の適用除外である場合は、上段に「適用除外」と記載する。

移動式クレーン等 車両系建設機械 使用届

抹消する。

現場代理人

持込会社の現場代理人(現場責任者)でもよい。

事業所の名称 八重洲建設株丸の内ビル作業所 一次会社名 大山建設株

所長名 夏川 二郎 殿 持込会社名 (二次) 株山田工務店

代表者名 間島 健児 (印)

電話 03-0341-XXXX

このたび、下記機械等を裏面の点検表により、点検整備のうえ持込・使用しますので、お届けします。なお、使用に際しては関係法令に定められた事項を遵守します。

呼称性能を記入、例えば移動式クレーンの場合最大つり上げ荷重、作業半径を記入

使用会社の現場代理人でもよい。

使用会社名		株式会社山下組(3次)		代表者名		山下良夫 (印)	
機械	移動式クレーン	メーカー	中央区重機株	規格・性能	25トン×10m	製造年	H6 年
管理番号(整理番号)	110	持込年月日	H23年7月20日	使用場所	型枠組立現場	持込会社の管理番号を記入	3
搬出予定年月日	H23年10月31日	資格の種類	大型1種、移動式クレーン免許	当該作業に必要な免許資格等を記入、書ききれないときは次の欄を使用する。			
運転者(取扱者)	(正)品川五郎	資格の種類	大型1種、移動式クレーン免許				
加入額	100,000千円	搭乗者	10,000千円	有効期限	H23年#月#日		
車両系建設機械フォークリフト等について記入		対物	3,000千円	車両	5,000千円	H23年#月#日	
接触防止措置等	セーフティセンサーを取り付ける						
機械等の特性・その他その使用上注意すべき事項	[機械貸与会社から使用会社に対するメッセージ(機械貸与会社記入)] ・アウトリガーは全張出しとし、ピンを入れて下さい。 ・吊り荷の荷重を計測する場合は、エンジンをふかさず、ゆっくり巻き上げメーターを読んで下さい。 ・吊り上げる反対の方向で操作して下さい。 ・AMLキーは作業所長に預けて下さい。						
機械の貸与会社が、安全作業上注意すべき事項を記入	元請受付番号業者記入不要						
担当	(印)	受付番号	3	受付確認者	山田	年 月 日	H23年7月19日

所有会社の出庫責任者でもよい。

所有会社名		品川リース株		代表者名		品川次郎 (印)			
移動式クレーン等		車両系建設機械等		点検結果		点検結果			
点検事項		点検結果		点検事項		点検結果			
		(a) (b)				(a) (b)			
A クレーン部(上部旋回体)	安全装置	巻過防止装置	✓		D 安全装置	旋回			
		過負荷防止装置	✓			バケツト			
		フックのはずれ止め	✓			ブーム・アーム			
		起伏制御装置	✓						
		旋回警報装置	✓						
	制御装置・作業装置	主巻・補巻	✓			E 作業装置	警報装置		
		起伏・旋回	✓				アウトリガー		
		クランプ	✓				ヘッドガード		
		ブレーキ・ロック	✓				照明		
		ジブ	✓				操作装置		
その他	清掃車	✓		F 走行部	バケツト・ブレード				
	フック・バケツト	✓			ブーム・アーム				
	ワイヤロープ・チェーン	✓			ジブ				
	玉掛用具	✓			リダ				
	操作装置	✓			ハンマ・オーガ・パイプロ				
B 車輻部(下部走行体)	走行部	性能表示	✓			G 電気装置	油圧駆動装置		
		照	明		✓			ワイヤロープ・チェーン	
		ブレーキ	✓					つり具等	
		クランプ	✓					ブレーキ	
		ハンド	✓					ブレーキロック	
	安全装置等	タイヤ	✓				クランプ		
		クロール	✓				操縦装置		
		警報装置	✓				タイヤ・鉄輪		
		各種ミラー	✓				クローラ		
		方向指示器	✓				配電盤		
C コムボラ	前後照灯	✓			配線				
	左折プロテクター	✓			絶縁				
	アウトリガー	✓			アース				
	昇降装置	✓							
	ベッセル	✓							
H その他	後方監視装置								
	突りょう								
	作業床								
点検日	年 月 日		点検者		年 月 日		点検者		
	H23・7・17		品川五郎 (印)				(印)		

- 機 械 名
- クレーン
 - 移動式クレーン
 - デリック
 - エレベーター
 - 建設用リフト
 - 高所作業車
 - ゴンドラ
 - 高所作業車
 - ゴンドラ
 - ブル・ドーザー
 - モーター・グレーダー
 - トラクターショベル
 - ずり機
 - スクレーパー
 - スクレーパー・ドーザー
 - パワー・ショベル
 - ドラダ・ショベル
 - (油圧ショベル)
 - ドラダライン
 - クラムシェル
 - バケツト掘削機
 - トレンチャー
 - コンクリート圧砕機
 - くい打機
 - くい抜機
 - アース・ドリル
 - リバース・サーキュレーション・ドリル
 - せん孔機
 - アース・オーガー
 - ペーパー・ドレーン・マシン
 - 地下連続壁施工機械
 - ローラー
 - クロールドリル
 - ドリルジャンボ
 - ロードヘッダー
 - アスファルトフィニッシャー
 - スタビライザ
 - ロードブレーナ
 - ロードカッター
 - コンクリート吹付機
 - ホーリングマシン
 - 重ダンプトラック
 - ダンプトラック
 - ドラックミキサー
 - 散水車
 - 不整地運搬車
 - コンクリートポンプ車
 - その他

(注) 持込機械等の届け出は、当該機械を持ち込む会社(貸与を受けた会社が下請の場合はその会社)の代表者が所長に届け出ること。
 2. 点検表の点検結果欄には、該当する箇所へ印を記入すること。
 3. 自社の点検表にて点検したものは、その点検表を貼付する(転記の必要はなし)。
 4. 機械名(1)から(6)まではA、B欄を、(7)はC欄を、(8)から(38)まではD、E、F、G欄を、(39)から(43)まではH欄を、(44)はB、D、E欄を使用して点検すること。
 5. 点検結果の(a)は、機械所有会社の確認欄とし、(b)は持込会社又は機械使用会社の確認欄とする。元請が確認するときは、(b)の欄を利用すること。

- 場内搬入後、持込機械届済証を当該機械に貼付すること。
- 直近に実施した特定(年次)及び月例の定期自主検査帳票の写し、任意保険(移動式クレーンの場合)の写しを必ず添付すること。
- 資格を必要とする建設機械運転者等には作業中、必ず運転免許等の資格証を携帯させること。

抹消する

移動式クレーン等 車両系建設機械 使用届

現場代理人

持込会社の現場代理人(現場責任者)でもよい。

事業所の名称	八重洲建設株丸の内ビル作業所	一次会社名	大山建設株
所長名	夏川 二郎 殿	持込会社名(二次)	株山田工務店
		代表者名	間島 健児 (印)
		電話	03-0341-XXXX

呼称性能を記入、例えば車両系建設機械の場合、機械重量、バケット容量等を記入

このたび、下記機械等を裏面の点検表により、点検整備のうえ持込・使用しますので、お届けします。なお、使用に際しては関係法令に定められた事項を遵守します。

使用会社名		代表者名	
株式会社山下組(3次)		間島 健児 (印)	
機械	名称 ドラグショベル(クレーン機能バックホウ)	メーカー 港区機械株	規格・性能 機体重量 5トン バケット要領 0.22m ³
製造年	H7 年	管理番号(整理番号)	101
持込年月日	H23年7月20日	使用場所	地山掘削作業に伴う土止め支保工現場
搬出予定年月日	H23年10月31日	持込会社の管理番号を記入	自社・リースの区別 (自社)・リース
運転者(取扱者)	氏名 (正)品川 五郎 (副)大崎 六郎	資格の種類	車両系建設機械(整地等)運転技能講習(3t以上)移動式クレーン免許等 車両系建設機械(整地等)運転技能講習(3t以上)移動式クレーン免許等
自効期 主定期間	H22年#月#日	移動式クレーン等の性能検査有効期限	H23年11月30日
自効期 特定期間	H23年#月#日	自動車検査証有効期限	H23年#月#日
車両系建設機械フォークリフト等について記入	加入額 対人 100,000 千円 対物 3,000 千円	搭乗者 10,000 千円	有効期限 車両 5,000 千円 H23年#月#日
接触防止措置等	セーフティセンサーを取り付ける		
機械等の特性・その他 その使用上注意すべき事項	[機械使用会社に対するメッセージ(機械貸与会社記入)] ・荷の吊り上げの作業について一定の合図を定めるとともに、合図を行う者を指名して、その者に合図を行うようにして下さい。 ・吊り上げた荷と接触又は吊り上げた荷の落下により労働者に危険が生じるおそれがある箇所に労働者を立ち入らせないように安全措置を講じて下さい。 ・車両系建設機械の構造及び材料に応じて定められた負荷させることができる最大の荷重を掛けて作業を行わないで下さい。		
機械の貸与会社が、安全作業上注意すべき事項を記入	受付番号	元請受付番号 業者記入不要	受付確認者
担当者 (印)	3	H23年7月19日	山田 (印)

機械の呼称名を記入

使用会社の現場代理人でもよい。

クレーン高所作業車等の年次検査日を記入

作業に必要な免許資格等を記入

車両保険等その他の保険を記入

受付番号を確認したサイン又は印

持込時の点検表

所有会社の出庫責任者でもよい。

所有会社名		代表者名					
(株)山田工務店		間島 健児 (印)					
移動式クレーン等		車両系建設機械等					
点検事項	点検結果	点検事項	点検結果				
	(a) (b)		(a) (b)				
A クレーン部(上部旋回体)	安全装置	巻過防止装置		D 安全装置	旋回	✓	
		過負荷防止装置			バケット	✓	
		フックのはずれ止め			ブーム・アーム	✓	
		起伏制御装置				✓	
		旋回警報装置				✓	
	制御装置・作業装置	主巻・補巻				警報装置	✓
		起伏・旋回				アウトリガー	✓
		クラッチ				ヘッドガード	✓
		ブレーキ・ロック				照明	✓
		ジブ				操作装置	✓
	その他	清掃車				バケット・ブレード	✓
		フック・バケット				ブーム・アーム	✓
		ワイヤロープ・チェーン				ジブ	✓
		玉掛用具				リダ	✓
		操作装置				ハンマ・オーガ・パイプロ	✓
B 車輛部(下部走行体)	走行部	性能表示		F 走行部	油圧駆動装置	✓	
		照	明		ワイヤロープ・チェーン	✓	
		ブレーキ			つり具等	✓	
		クラッチ			清掃車	✓	
		ハンドル			ブレーキ		
	安全装置等	タイヤ				駐車ブレーキ	
		クローラ				ブレーキロック	
		警報装置				クラッチ	
		各種ミラー				操縦装置	
		方向指示器				タイヤ・鉄輪	
C コンテナ	前後照灯			G 電気装置	クローラ		
	左折プロテクター				配電盤		
	アウトリガー				配線		
	昇降装置				絶縁		
	ベッセル				アース		
H その他	後方監視装置						
	突りょう						
	作業床						
	昇降装置						
電気装置							
ワイヤ・ライフライン							
点検日 (a)	年月日	点検者	岩手 二郎 (印)	点検日 (b)	年月日	点検者	(印)
	H23・7・17						

- 機 械 名
- クレーン
 - 移動式クレーン
 - デリック
 - エレベーター
 - 建設用リフト
 - 高所作業車
 - ゴンドラ
 - 高所作業車
 - ゴンドラ
 - ブル・ドーザー
 - モーター・グレーダー
 - トラクターショベル
 - すり機
 - スクレーパー
 - スクレーパー・ドーザー
 - パワー・ショベル
 - ドラダ・ショベル(油圧ショベル)
 - ドラダライン
 - グラブショベル
 - バケット掘削機
 - トレンチャー
 - コンクリート圧砕機
 - くい打機
 - くい抜機
 - アース・ドリル
 - リバース・サーキュレーション・ドリル
 - せん孔機
 - アース・オーガー
 - ペーパー・ドレーン・マシン
 - 地下連続壁施工機械
 - ローラー
 - クロラドリル
 - ドリルジャンボ
 - ロードヘッダー
 - アスファルトフィニッシャー
 - スタビライザ
 - ロードプレーナ
 - ロードカッター
 - コンクリート吹付機
 - ボリングマシン
 - 重ダンプトラック
 - ダンプトラック
 - ドラックミキサー
 - 散水車
 - 不整地運搬車
 - コンクリートポンプ車
 - その他

(注) 1. 持込機械等の届け出は、当該機械を持ち込む会社(貸与を受けた会社が下請の場合はその会社)の代表者が所長に届け出ること。
2. 点検表の点検結果欄には、該当する箇所へ印を記入すること。
3. 自社の点検表にて点検したものは、その点検表を貼付する(転記の必要はなし)。
4. 機械名(1)から(6)まではA、B欄を、(7)はC欄を、(8)から(38)まではD、E、F、G欄を、(39)から(43)まではB欄を、(44)はB、D、E欄を使用して点検すること。
5. 点検結果の(a)は、機械所有会社の確認欄とし、(b)は持込会社又は機械使用会社の確認欄とする。元請が確認するときは、(b)の欄を利用すること。

- 場内搬入後、持込機械届済証を当該機械に貼付すること。
- 直近に実施した特定(年次)及び月例の定期自主検査帳票の写し、任意保険(移動式クレーンの場合)の写しを必ず添付すること。
- 資格を必要とする建設機械運転者等には作業中、必ず運転免許等の資格証を携帯させること。

《全建統一様式 第9号》〔移動式クレーン／車両系建設機械〕等使用届

【注意事項】

1. 持込機械等の届け出は、当該機械を持ち込む会社（貸与を受けた会社が下請の場合はその会社）の代表者が所長に届け出ること。
2. 点検表の点検結果欄には、該当する箇所へ✓印を記入すること。
3. 自社の点検表にて点検したものは、その点検表を貼付する（転記の必要はなし）。
4. 機械名（1）から（6）まではA、B欄を、（7）はC欄を、（8）から（38）まではD、E、F、G欄を、（39）から（43）まではB欄を、（44）はB、D、E欄を使用して点検すること。
5. 点検結果の(a)は、機械所有会社の確認欄とし、(b)は持込会社又は機械使用会社の確認欄とする。元請が確認するときは、(b)の欄を利用すること。
6. 場内搬入後、持込機械届済証を当該機械に貼付すること。
7. 直近に実施した特定（年次）及び月例の定期自主検査帳票の写し、任意保険（移動式クレーンの場合）の写しを必ず添付すること。
8. 資格を必要とする建設機械運転者等には作業中、必ず運転免許等の資格証を携帯させること。

記入例

持込機械等 [電動工具
電気溶接機] 等 使用届

会社名 **一次建設株式会社**

現場責任者 **中島 明**

サイン

このたび、下記機械等を点検表により、点検整備のうえ持込・使用しますので、お届けします。
なお、使用に際しては、関係法令に定められた事項を遵守します。

記

番号	機 械 名	点検者	持込年月日
1	アーク溶接機	◇◇	〇〇年〇月〇日
2	電動丸のこ	▲▲	〇〇年〇月〇日
3	電動ドリル	▲▲	〇〇年〇月〇日
4	ウインチ	□□	〇〇年〇月〇日
5			
6			
7			
8			
機械等の特性・その他その使用上注意すべき事項			

持込時の点検表 点検 〇〇年〇月〇日

電動工具・電気溶接機等									機 械 名
番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	
点検事項									
アース線	√	√	√	√					① 電動カンナ
接地クランプ	√								② 電動ドリル
キャブタイヤ	√	√	√	√					③ 電動丸のこ
コネクタ		√	√	√					④ グラインダー等
接続端子の締結	√	√	√	√					⑤ アーク溶接機
充電部の絶縁	√	√	√	√					⑥ ウインチ
自動電撃防止装置	√								⑦ 発電機
絶縁ホルダー	√								⑧ トランス
溶接保護面	√								⑨ コンプレッサー
操作スイッチ	√	√	√	√					⑩ 送風機
絶縁抵抗測定値	√	√	√	√					⑪ ポンプ類
各種ブレーキの作動				√					⑫ ミキサー類
手すり・囲い									⑬ コンベヤ
フックのはずれ止め				√					⑭ 吹付機
ワイヤロープ・チェーン				√					⑮ ボーリングマシン
滑 車				√					⑯ 振動コンパクター
回転部の囲い等		√							⑰ バイブレーター
危険表示									⑱ 鉄筋加工機
そ の 他									⑲ 電動チェーンブロック
積 載 荷 重 表 示				√					⑳ その他

- 持込機械等の届出は、当該機械を持込む会社（貸与を受けた会社が下請の場合はその会社）の責任者が統括責任者に届け出ること。
- 点検表の点検結果欄には、該当する箇所へ V印（チェック）を記入すること。

用紙サイズ: A4 (横)

記入例

第6号 (参考様式)

工 事 用 車 両 届

元請
確認欄

〇 年 〇 月 〇 日

事業所の名称 八重洲建設丸の内ビル

一次会社名 大山建設

所 長 名 夏川 二郎 殿

使用会社名 (一次) 備山田工務店

現場代理人 (現場責任者) 間島 健児 ㊞

下記のとおり車両を運行しますので、お届けいたします。

No.	型式	小型トラック (2t)		車両番号	品川44ね〇〇-〇〇		任意保険	保険会社	〇〇火災海上保険		証券番号	〇〇〇〇号		
	使用期間	H11年 6月 1日		～	H12年 5月 31日			対人	10,000万円		対物	500万円 搭乗者 1,000万円		
	運転者	氏名	角田 昭男		生年月日	S18年 10月 〇日		保険期間	H11年 6月 1日 ～ H12年 5月 31日					
		住所	東京都北区志茂町〇-〇-〇					運行経路	自 会社(神田)～ 經由 神田橋～ 經由 馬場先門～至 丸の内作業所					
	免許の種類	普通免許		免許番号	〇〇〇〇									
No.	型式			車両番号			任意保険	保険会社			証券番号			
	使用期間	年 月 日		～	年 月 日			対人	万円		対物	万円 搭乗者 万円		
	運転者	氏名			生年月日	年 月 日		保険期間	年 月 日 ～ 年 月 日					
		住所						運行経路						
	免許の種類			免許番号										
No.	型式			車両番号			任意保険	保険会社			証券番号			
	使用期間	年 月 日		～	年 月 日			対人	万円		対物	万円 搭乗者 万円		
	運転者	氏名			生年月日	年 月 日		保険期間	年 月 日 ～ 年 月 日					
		住所						運行経路						
	免許の種類			免許番号										

- 【注】
- この届出書に記入した全ての車両の車検証の写しを添付し提出すること。
 - 任意保険の担保額は対人無制限、対物500万円以上、搭乗者無制限とすることが望ましい。
 - 車両の常置場所から作業現場までの運行経路を記入することが望ましい。

- この届出書に「任意保険」の証書(写)を添付し提出すること。
- マイクロバス等についても記載すること。
- 運転者が変わった場合はその都度届出ること。